北海道考古学会だより

第 108 号

2014.3.3

目 次

2014年度北海道考古学会総会・研究大会の開催について	··· 1
2014年度総会について	1
2014年度研究大会「盛土遺構を掘る」	1
2013年度遺跡調査報告会の実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
月例研究会のお知らせ	2
事務連絡	3
入退会者のお知らせ	3
会費納入のお願い····································	<u>3</u>

2014年度北海道考古学会総会・研究大会の開催について

2014年度総会について

2014年度総会を研究大会の昼食休憩前に同一会場にて開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会ですので、多くの会員の出席を期待します。なお、やむをえず欠席される予定の会員は、必ず委任状を提出されるようお願い致します。

日時:2014年5月10日(土) 11:40~12:10

会場:北海道大学学術交流会館 講堂(札幌市北区北8条西5丁目)

2014年度研究大会「盛土遺構を掘る」

日 時:2014年5月10日(土) 10:00~17:30

会 場:北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

交 通:JR札幌駅北口 徒歩7分(北大正門から入るとすぐ左手に見えます)

*駐車場はございません。公共の交通機関でお越しください。

趣 旨:

近年の発掘調査の進展により、盛土遺構は縄文中期~後期集落において一般的な遺構として認知されつつある。一方で、研究の中心は全体的な形態や環状列石成立との関係など、発掘調査の先にあるはずの解釈論が先んじており、個別の遺跡における盛土遺構の形成過程や内包される遺構などといった「実態」が議論となることは少ない。

竪穴住居跡や土坑といった遺構と盛土遺構が決定的に異なるのは、前者が究極的には覆土を除去して穴の形態を明らかにすることを目的とするのに対し、後者が「土」そのものが調査対象になる点と、前者における壁の立ち上がりや貝塚における貝のように明瞭な認定基準を設定しがたい点である。これらは発掘調査時にのみ検討が可能であり、発掘調査報告書が刊行されたとしても、調査者の記憶にのみ残り、報告・共有されがたい情報を多く含む。

そこで本研究大会では、縄文時代中期~後期前葉を対象として、道内各地で盛土遺構を調査された方にそれぞれの状況を発表していただき、更に調査の課題や研究の基盤となる発掘調査方法について討論を行う。

日 程:

(午前の部)

9:30 開場・受付

10:00~10:10 開 会 会長挨拶·日程説明

10:10~10:40 「盛土遺構とは」福井淳一氏(北海道埋蔵文化財センター)

10:40~11:10 「館野6遺跡|大泰司統氏(北海道埋蔵文化財センター)

11:10~11:40 「館崎遺跡」影浦 覚氏(北海道埋蔵文化財センター)

11:40~12:10 北海道考古学会総会

(午後の部)

13:00~13:30 「茂別遺跡 | 工藤研治氏(北海道教育委員会)

13:30~14:00 「港町1遺跡」山谷文人氏(利尻富士町教育委員会)

14:00~14:30 「大楽毛1遺跡」石川 朗氏(釧路市埋蔵文化財センター)

14:30~15:00 「オクシベツ6・峰浜8線遺跡」村本周三氏(北海道教育委員会)

15:00~16:00 「土壌分析からみた盛土遺構」辻本裕也氏(パリノ・サーヴェイ株式会社)

16:00~17:30 全体討論 司会:阿部明義氏(北海道埋蔵文化財センター)

17:30 閉 会

※発表のタイトルおよび順番は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※資料代として、1,000円(予定)を申し受けます。

※研究大会終了後、懇親会を大学構内「ニコラスハウス(旧きゃら亭)」にて行う予定です(17:45~19:45、会費は3,500円)。

2013年度遺跡調査報告会の実施報告

今年度の遺跡調査報告会は、2013年12月14日(土)に、北海道大学学術交流会館にて行われました。2013年に北海道内で行われた発掘調査は80件で、その中から道内各地の旧石器時代から近世(アイヌ文化期)までの各時代・時期に及ぶ9件(14遺跡)の調査が報告されました。報告された調査は開発にともなう緊急調査(10遺跡)、範囲確認調査(2遺跡)、学術研究調査(2遺跡)と各種別に渡りました。

会場には本会会員の方のみならず、一般市民の方々も多く来場され、考古学への関心の高さと、発掘調査成果を今後とも広く公開・発信していく必要性を改めて感じました。

なお、報告会終了後には恒例の懇親会が催され、会場では、情報交換と交流が行われました。

〔発表遺跡〕① 木古内町 新道4遺跡

- ② 木古内町 大平遺跡・大平4遺跡・札苅7遺跡
- ③ 函館市 サイベ沢遺跡
- ④ 北斗市 茂辺地 4 遺跡
- ⑤ 厚真町 ショロマ1遺跡・ショロマ2遺跡・ショロマ3遺跡
- ⑥ 置戸町 勝川2遺跡
- (7) 羅臼町 サシルイ岬チャシ跡・サシルイ岬遺跡
- ⑧ 浜頓別町 ブタウス遺跡
- ⑨ 浜頓別町 日の出遺跡

月例研究会のお知らせ

北海道考古学会では、以下の予定で月例研究会を行います。日時・会場については、学会ホームページ(http://www.h7.dion.ne.jp/~hokkouko/)に最新の情報を掲示いたしますので、事前にご確認をお願いいたします。発表を希望される会員は、学会事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

2013年度

第7回月例研究会:卒論発表会

〇日 時:3月15日(土) 15:00~

○場 所:北海道大学人文·社会科学総合教育研究棟(W棟)517教室

○発表者:山戸大和氏(札幌学院大学)

○テーマ:擦文文化の集落構造について

○発表者:富塚龍氏(札幌学院大学)

○テーマ:置戸町勝山2遺跡出土細石刃核について

2014年度

第1回月例研究会

〇日 時:6月14日(土) 15:00~

○場 所:北海道大学(予定)

○発表者:高瀬克範(北海道大学)

○テーマ:ロシア平原における中石器の利用法―モスクワ州域出土資料の使用痕分析―

第2回月例研究会

〇日 時:7月19日(土) 15:00~

○場 所:北海道大学(予定)

○発表者:高橋美鈴(北海道埋蔵文化財センター) ○テーマ:続縄文時代のガラス玉について(仮題)

※事前申し込み・参加費 不要

※問い合わせ:北海道考古学会事務局 hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp

入退会者のお知らせ

≪新入会員≫ ※敬称略

児島恭子(札幌市) 永谷幸人(苫小牧市)

会費納入のお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、本年度を除く過去3年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。

郵便局口座番号:02770-6-8358 加入者名:北海道考古学会

年会費: (一般(大学院生含む)) 5,000円 (学生(学部生)) 3,500円

北海道考古学会だより

第108号

2014年3月3日 発行

発行所 北海道考古学会 (ホームページ:http://www.h7.dion.ne.jp/~hokkouko/)

事務局: 〒052-0031 北海道伊達市館山町21-5

伊達市噴火湾文化研究所内 北海道考古学会事務局

TEL : (0142)21-5050 FAX : (0142)22-5445

E-mail: hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp

印 刷 北海道図書企画 (011)668-1131